

堀井外務副大臣主催日ネパール外交関係樹立70周年・
ポーデル・ネパール大統領訪日 記念レセプション 堀井副大臣挨拶
令和8年2月2日(月) 於:飯倉別館

ポーデル・ネパール大統領閣下、サビタ令夫人、御臨席の皆様

こんばんは。ナマスカール(ネパール語で丁寧な挨拶)。外務副大臣の堀井巖です。

本日は、ネパールとの外交関係樹立70周年記念レセプションに御出席を賜り、誠にありがとうございます。

また、ポーデル大統領閣下をお迎えして共に祝うことができ、光栄です。大統領御夫妻の訪日を心から歓迎申し上げます。

日本とネパールは、20世紀初頭から続く留学生交流を始め、長年の人の往来の歴史を土台として友好関係を築いてきました。70年前の1956年に両国が外交関係を樹立して以来今日まで、両国関係の連帯はこれまでになく強固なものとなっています。

この70年で、山岳登山交流や農業交流、留学、民間レベルでの技術協力など、様々な分野での交流により、日本とネパールは互いにとって欠かせない友人となり、二国間関係は極めて緊密となりました。

私自身、2017年、外務大臣政務官としてネパールを訪問し、カトマンズを始めとする訪問先で、日本とネパールが手を携えて協力してきた現場を見てまいりました。

インフラ支援を始めとする様々な分野でネパールの発展に貢献してこられた方々、国会議員として日ネパール関係の発展を後押ししてこられた方々、日本で幅広く活躍されている約27万人の在留ネパール人の皆様を始め、両国関係の発展に貢献してきた皆様に対し、ここに改めて深い敬意と感謝を表します。

私としても、本日御出席の皆様と共に、日ネパール関係の次の70年に向けて取り組んでいきます。

最後に、ポーデル大統領閣下及び令夫人の訪日が心に残るものとなるよう心から祈念するとともに、ネパール国民の皆様の更なる繁栄、日ネパール両国の友好関係の一層の発展を祈念し、私の挨拶とさせていただきます。

ありがとうございました。ダンニヤワード（ネパール語で「ありがとう」）。

（了）